

会員行の2019年度中間決算の概要について

〔 2019年12月19日 〕
一般社団法人 第二地方銀行協会

会員行の2019年度中間決算（単体）の概要は以下のとおり。
※計数は2019年9月末時点の会員行39行ベース（特記ある場合を除く）。

（単位：億円、％）

○損益の状況

	2019年度 中間期	前年同期比	
		増減額	増減率
業務純益	854	66	8.4
コア業務純益	748	△ 91	△ 10.8
コア業務純益 （除く投資信託解約損益）	671	-	-
資金利益	3,516	△ 123	△ 3.4
貸出金利息	2,865	△ 49	△ 1.7
有価証券利息配当金	765	△ 101	△ 11.7
役員取引等利益	288	△ 7	△ 2.4
国債等債券関係損益	143	191	-
経費（△）	3,072	△ 54	△ 1.7
一般貸倒引当金繰入額（△）	37	35	1,750.0
臨時損益	△ 138	△ 268	-
個別貸倒引当金繰入額（△）	158	49	45.0
株式等関係損益	32	△ 212	△ 86.9
貸倒引当金戻入益	35	△ 1	△ 2.8
経常利益	716	△ 202	△ 22.0
特別損益	25	34	-
中間純利益	517	△ 154	△ 23.0
与信関係費用合計（△）	206	90	77.6

・業務純益：増益

国債等債券関係損益が益超に転じたこと等により増益。

（資金利益：減益）

貸出金利息および有価証券利息配当金の減少等により減益。

（役員取引等利益：減益）

保険・投信窓販手数料の減少を主因とし微減。

（経費：減少）

人件費を中心に減少。

・経常利益、中間純利益：減益

株式等関係益の減少、与信費用の増加を受け減益。

・与信費用：増加

貸倒引当金繰入額の増加等により増加。

○預貸金の状況

	2019年度 中間期末	前年同期末比	
		増減額	増減率
預金	617,831	6,080	1.0
貸出金	482,657	9,845	2.1

・預金、貸出金

預金、貸出金ともに増加。

・金融再生法開示債権比率

開示債権額の減少により低下。

・単体自己資本比率

リスクアセットの増加により低下。

○不良債権の状況

	2019年度 中間期末	前年同期末比	
		増減額/変化幅	増減率
金融再生法開示債権額(A)	9,124	△ 107	△ 1.2
総与信(B)	489,165	10,153	2.1
金融再生法開示債権比率(A/B)	1.86	△ 0.06	

○単体自己資本比率

	2019年度 中間期末	前年同期末比	
		増減額/変化幅	増減率
自己資本額	31,242	238	0.8
リスク・アセット合計	333,277	8,995	2.8
自己資本比率	9.37	△ 0.19	

注：国際統一基準行(1行)を除く国内基準の38行ベース。

【本件に関するお問合せ先】

企画部：糞田、加藤

TEL：03-3262-2509、2534